

様式第4号（第12条関係）

事業者行動報告書

令和5年5月16日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県守山市水保町2477番地

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

株式会社テクノサイエンス

代表取締役 山本 康人

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第21条第1項
第22条第2項において準用する同条例第21条第1項）
の規定に基づき、事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	株式会社テクノサイエンス 代表取締役 山本 康人
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	滋賀県守山市水保町2477番地

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社テクノサイエンス
事業所の所在地	滋賀県守山市水保町2477番地
主たる事業	細分類番号 7 4 5 2 環境計量証明業
該当する事業者の要件	<input type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 任意提出事業者

2 計画期間および報告対象年度

計画期間	令和3 年度 ～ 令和4 年度
報告対象年度	令和4 年度

3 計画の実施状況

計画の実施状況	別添のとおり
---------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第2号

(第1面)

1 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況等

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の実施状況

	取組項目	取組の内容	取組の実施状況
1	運用改善対策	コンプレッサーの吐出圧調整	計画・検討中
2	運用改善対策	空調室外機を陰にする	計画・検討中
3	運用改善対策	空調機のフィルター清掃	計画・検討中
4	運用改善対策	冬季の湿度コントロール	計画・検討中
5	設備導入対策	最新高効率照明設備への変更による省エネ	令和3年に度実施
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の実施状況

	温室効果ガスの種類	取組の内容	取組の実施状況
1			
2			
3			

(3) 上記の取組に係る目標の進捗に対する自己評価

<p>【目標】 基準年度(令和2年度)と比較して、計画終了時(令和4年度)に以下目標数値の達成を目指す。 尚、令和3年度の報告は、途中経過報告とする。 ①電力使用量:基準年度から 22,000kWh削減 ②CO₂排出量:基準年度から 7t-CO₂削減</p> <p>※実績を目標と適切に対比させるため、計画期間中の温室効果ガス排出量の算定は、令和2年度(0.340kgCO₂/kWh 関西電力調整前)の係数に固定して計算する。</p> <p>【結果】 ①電力使用量:4,264kWh削減(令和2年度:451,450kwh→令和4年度:447,186kwh) ②CO₂排出量:±0t-CO₂(令和2年度:154t-CO₂→令和4年度:154t-CO₂)</p> <p>【評価】 ①保冷室で使用している低温エアコンの故障により、冷蔵庫のコンテナを2022年7月15日～2022年11月28日まで利用していたため(低温エアコンより冷蔵庫のコンテナの方が電力使用量が多い)。 ②3月～5月が取引先の年度末の予算消化により、注文が殺到し、機器の稼働率も上がったため。 以上、上記2点の理由により、予定していたよりも電力使用量が増加したことで、電力削減を図ることが出来ず、大幅に目標と乖離する結果となった。 本年度で報告は終了となるが、引き続き会社一丸となって省エネ対策には取り組んでいく。</p>
